



起震車体験

4月27日防災教育の日(撮影 土井)

備えよう「自らの命は自らが守る」

「もしも」の時に備えて

調布市立杉森小学校 校長 清水 吏

すぎもり地区協議会の皆様には、毎年4月に行われます調布市防災教育の日の活動をはじめとして、秋の防災訓練など、子供たちのため、地域のためにご尽力いただいております。感謝を申し上げます。

さて、私が4月に杉森小学校に着任して、3ヶ月が経ちました。子供たちは元気に挨拶してくれる子が多くいるように感じます。しかも、校内だけではなく、私が出張からの帰りや退勤時など、学校の外でも明るく声をかけてくれる姿が目立ちます。とても嬉しく、日頃から地域の皆様が子供たちに優しく声をかけ、見守ってくださり、さらに地域の大人同士も仲がよいことで子供たちも挨拶が盛んにできるのだと感じています。

今年度に入ってからも、震度4以上の地震が何度もあり、特に6月18日の夜には新潟で震度6強の地震が発生したこともあり、一段と災害に対する備えが大きな課題であるとの認識をしています。加えて、集中豪雨や台風などの風水害の危険も増しています。多摩川沿岸のすぎもり地区だからこそ、備えが必要です。「自助、共助、公助」と言われて久しくなりますが、災害時には「公助」が届くまでの3日間をどう乗り切るかが大切です。高齢化を迎えている日本では、高齢者や乳幼児など災害弱者が少なくありません。すぎもり地区でも災害弱者をどう自分たちの手で救いながら協力して避難生活を行うかが重要ですが、この地域には、地域の活動を応援し、積極的に参加して下さる「若者たち」が多くおり、先ほど述べたように、元気に挨拶をかわして仲良く地域活動を行う姿もあります。とても頼もしく感じます。

杉森小学校、第三中学校ともに、すぎもり地区協議会と連携しながら、「もしも」の時に備えてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。





▲避難所受付



▲マンホールトイレ設営



▲非常食アルファ米を900食用意

4/27

防災教育の日

今年も「防災教育の日」に避難所開設訓練を行いました。起震車体験、マンホールトイレの設営、アルファ米の炊き出しと配布など、学校と保護者・地域が連携し、非常時に備えた体制を再確認する大切な1日となりました。



▲非常食を配布



▲引き渡し訓練



▲防災備蓄倉庫の開放・点検

防災啓発映画上映・講話



中島会長と山崎氏

山崎光
映画『いつか君の花明りには』監督/
日本防災士機構認定防災士／防災団体
やろうよ！子どもぼうさい代表

この日5年生と地域・保護者を対象に、防災啓発映画『いつか君の花明りには』が上映されました。実際に地震災害に遭われた方々が、その体験から防災の大切さを伝えてくれるドキュメンタリー映画です。上映後、監督の山崎氏による講話が行われ、地震が起きた場合の危険について、また身の守り方などについてクイズ形式で学びました。「首都直下地震はみなさんが40歳になるまでに70%の確率で起こるといわれています。今日からできる防災として、通学路の危険箇所を調べたり、家の家具は固定されているか確認したり、家族が離ればなれになった時の集合場所を決めたり、家族と防災について話し合ってください。防災の大切さを家族や他の人たちに伝えることは自分たちにもできるということに気づいてほしい」山崎氏の言葉に子ども達も真剣に聞き入っていました。



9月14日(土)、すぎもり地区協主催の「防災訓練」を行う予定です。ぜひご参加ください！



▲三中北側の道路で許可を取って行いました



▲飼い主の横と一緒に歩く

モデル犬と講師の宮澤先生▶



3/10

ペット同行避難訓練

2回目のペット同行避難訓練を行いました。警察犬公認訓練士の宮澤先生を講師に招いて、三中北側道路の使用許可を取り、犬のしつけ方、扱い方を指導していただきました。環境省によれば、避難所で受け入れられる犬は「待て」「おいで」などの躰しつけができていない犬ということです。

飼い主と一緒に中型犬1匹、小型犬14匹、モデル犬3匹が参加しました。まずモデル犬が飼い主と一緒に歩き、「待て」、「おいで」などを披露しました。モデル犬は、周りに吠える犬がいても見向きもしませんでした。

講師にしつけ方のポイントを教えて頂きました。ポイントは“できたら褒める”です。上手にできたとき、思いっきり褒めて、できないときは相手にしません。吠えて困る犬に、ダメと声をかけると褒められたと誤解するので、相手にしません。

これまでの避難訓練で躰しつけのできていないペットは避難所で受け入れできないことが分かりました。これからも避難所とペットについて検討していきます。



▲ケージに入る練習



▲待ての指示で待ち続ける



連載 防災コラム

備えあれば ①



各地で地震が頻発している。地震はいつ起きるか、どこで遭遇するかわからない。20数年の年月を経ても忘れられないことがある。阪神淡路大震災の「突然」の激しい揺れとその後起きた「想定外」の出来事である。当時住んでいた阪神甲子園球場近くの臨海部の団地では、建物の被害は少なかったもののライフラインが止まり水道・ガスが使えず、ゴミの収集もストップ、子供の紙おむつも手に入りにくくなるなど日常生活に支障をきたした。

しかしその後の瓦礫の処理問題が想定外だった。建物被害が大きかった他の地域から瓦礫(壊れた家の柱や壁などの建材や畳・家具など一切)がひっきりなしに運び込まれ、近くの埋立地は見ると瓦礫の山となった。そのうち気温が上がると雨ざらしの瓦礫の山から臭気や虫が発生、やむなく野焼きが始まったが風に乗って煙やススが流れてきた。当初は我慢していた住民からしだいに健康不安の声が上がり、野焼きを中止してダイオキシンなどの有害物質が発生しないよう焼却炉で処理してほしいと行政に訴える署名運動にまで発展した。このように瓦礫の処理ひとつをとっても思わぬ事態になったのである。

災害は「突然」やってきて「想定外」のことを引き起こす。まずは1人ひとりが想像力を働かせて、自分にとっての防災について考えて備えよう。水や食料、防災用品の備えとともに。

(地域ネット担当 加藤)

3/17

まちなつ



焼きそばを430食完売！あくろす内地区協ブースには、活動紹介展示の他クイズコーナーもあり、大勢の方が来場されました。

5/19

ボランティアまつり



今年もお天気に恵まれたボランティアまつり。舞台でもアルファ米の実演を行い、その後、実際に調理したアルファ米を約600食、無料配布しました。30分程で配布が終わってしまうくらい、人気のあるアルファ米。熱湯で作ったアルファ米は、なかなかのお味です。ぜひ皆様にも食べていただきたいです。

5/11

2019年度定例総会
が行われました

5月11日(土)染地地域福祉センターにおいて2019年度定例総会が開催され、平成30年度活動報告、決算報告、2019年度活動方針、予算案他6議案すべての議案が審議承認されました。避難所におけるペット問題については、引き続き検討をしていく方針が会長より述べられました。

地域の相談窓口

お気軽にご相談ください。

福祉や介護に関する相談等は…

調布市地域包括支援センター
ときわぎ国領

高齢の方やそのご家族が、地域で安心して暮らせるよう、福祉や介護に関する様々な相談ができる総合相談窓口として、調布市から委託を受けている機関です。担当地区は染地2、3丁目、国領町7、8丁目(8丁目1、4番地を除く)

です。お電話での相談や、状況に応じて職員がご自宅に訪問することもでき、適切なサービス等をご案内しております。

〈電話〉050-5540-0860

(9:00～18:00)



生活の相談、仲間づくりの相談等は…

調布市社会福祉協議会
市民活動支援センター

誰もがいきいきと安心して暮らしていくための生活の相談、趣味やボランティアを通じた仲間づくりの相談の窓口として活動しています。

- 染地地域福祉センター内 ボランティア室
ボランティアコーディネーター 渡邊久美子
TEL 481-3790 火～土 9時～17時
- 調布市総合福祉センター内
地域福祉コーディネーター 中村 竜
地域支え合い推進員 北島正也
TEL 481-7693 月～金 9時～17時

お知らせ

8月 杉森地域納涼盆踊り大会
8月2日(金)と3日(土)

9月 調布市花火大会
9月7日(土)

すきもり地区協防災訓練
9月14日(土)

10月 杉森地域運動会 学校開放委員会主催
10月20日(日)

11月 児童館まつり
11月10日(日)

杉森小オータムコンサート
12月1日(日)